

- 問1 標高が高く、夏でもすずしい気候を利用して、キャベツやレタスを育てる農業を何といいますか。
- 問2 国や自治体が、魚の量や期間を制限するような「漁獲規制」を行う一番の目的は何ですか。
- 問3 漁業資源を守るために、国や自治体が行っている「とれる魚の量や期間を制限する」取り組みのことを何といいますか。
- 問4 漁港の近くに「加工工場」があることで、どのような良さがありますか。
- 問5 大陸だなの近くでは、なぜよい漁場ができるのですか。
- 問6 暖流や寒流が近くを流れ、海そうやプランクトンが多く、よい漁場となっている浅い海底のことを何といいますか。
- 問7 暖流と寒流がぶつかり、よい漁場となっているところを何といいますか。
- 問8 人工的に育てた稚魚を、ある程度の大きさになるまで守ってから海や川に放し、自然の中で成長させてからとる漁業のことを何といいますか。
- 問9 漁港の近くに建てられている、水揚げされた魚を競りにかけるための施設を何といいますか。
- 問10 魚市場で行われる「せり」には、どのような役割がありますか。
- 問11 大都市の近くで、消費者の好みに合わせて新鮮な野菜をたくさん作り、トラックを使って素早く届ける農業を何といいますか。
- 問12 遠洋漁業の生産量が、1970年代から大きく減り続けている主な理由は何ですか。
- 問13 農家の人々が集まって、農業のやり方を教え合ったり、農作物をまとめて売ったりする組織のことを何といいますか。
- 問14 農家が「産地直送」でお客さんに商品を届けることで、どのような良いことがありますか。
- 問15 その土地の気候や風土に合わせて、より育てやすくおいしい農作物の種類を新しく作り出すことを何と言いますか。
- 問16 「地産地消（ちさんちしょう）」とは、どのようなことですか。
- 問17 長野県や群馬県などの涼しい地域で、夏の涼しい気候をいかしてキャベツやレタスを育てる主な目的は何ですか。
- 問18 林業で、木が十分に育ったあとに、それらを切り出して木材にする作業を何といいますか。
- 問19 ビニールハウスなどの施設とあたたかい気候を利用して、ふつうよりも早い時期に野菜をつくり出荷する栽培方法を何といいますか。